

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2年 2月 20日 更新

事務事業名	水道事業建設改良事業(配水施設等)				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康		所属部	水道局	課長名 澤田 修一
	施策	20	水の安定供給と排水の浄化		所属課	水道課	担当者名 田中 良知
	施策の柱	60	水の安定供給		所属班	水道班	(内線) 5242
予算科目	会計企業	款	項	目	事業連番	根拠法令	地方公営企業法、水道法、合志市水道事業給水条例
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	上水道の配水池等施設の整備を行う事業である。本事業は、豊富低廉な水の供給を図り公衆衛生の向上と生活環境の改善を目的として昭和37年度から事業を実施している。水道利用者数(給水件数)は、本市の人口増加に伴い増加傾向(平成30年度末24,224件)にあることから、計画的な配水施設の整備等を行い安定的な水の供給を図ることとしている。現在、木原野配水池を築造中であり、平成31年度完了予定である。(平成28年度末に竹迫地区簡易水道及び栄地区簡易水道を上水道へ統合)
【業務の流れ】	上水道の配水池等施設整備のための工事発注等業務。用地取得が必要な場合は用地交渉あり。 ①測量設計委託契約②実施設計書の作成③道路占用申請④工事請負契約の締結⑤配水池等整備工事⑥竣工検査⑦支払い事務
【主な予算費目】	建設改良費(営業設備費) 工事請負費、委託料、用地購入費。
【意見や要望】	特になし。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動)(DO)	木原野配水池・木原野第6水源池関連工事(管理棟・機械設備・電気設備・場内配管・土木等)を行った。	31年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 木原野配水池造成工事(場内舗装工事等)
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 箇所 ア: 上水道配水池等施設数 イ:	予算の主な増減の理由 木原野配水池関連の工事費による
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	上水道利用者	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) ア: 給水人口(上水道利用者数) 人 イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	安全で良質な水道水を安定的に使用できる	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) ア: 上水道利用者数のうち安全で良質な水道水を安定的に使用できた割合 % イ:
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠 水道使用者に安定した水道水の供給ができた割合		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	28年度実績(決算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	30年度実績(決算)	31年度目標(当初予算)	2年度予定	3年度見込	4年度見込
①活動指標	ア 箇所		9	33	33	33	37	37	37	37
	イ									
②対象指標	ア 人		55,432	60,906	62,000	61,643	62,500	63,000	63,500	64,000
	イ									
③成果指標	ア %		100	100	100	100	100	100	100	100
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円	412,585	700,000	800,000	300,000			
		その他	千円		113,324	213,059	402,458	42,085	10,000	10,000
		繰入金	千円							
	(A)事業費計	(A)事業費計	千円	412,585	813,324	1,013,059	702,458	42,085	10,000	10,000
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	7	6	4	5	4	4	4
		延べ業務時間	時間	1,560	2,620	500	1,410	1,000	500	500
(B)人件費計		千円	0	10,364	1,992	5,558	3,984	1,992	1,992	
トータルコスト(A)+(B)		千円	412,585	823,688	1,015,051	708,016	46,069	11,992	11,992	

事務事業名	水道事業建設改良事業（配水施設等）	所属部	水道局	所属課	水道課
-------	-------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 木原野配水池築造工事を継続して行っていく。計画どおりに事業が進捗すれば、目標達成の見込みはある。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 配水施設の増設・機能強化を進め、すべての上水道使用者に安定的な水道水の供給を行うこととしているため、成果向上の余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 配水施設の整備等を行う類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 設計及び工事の詳細について打合せを綿密に行い、必要最小限の予算で事業を行うことにより削減余地がある。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小の人員で、他事業との兼務で事業に当たっており、これ以上の削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 すべての上水道使用者に受益機会があり、同様に費用負担があるので公平・公正である。
	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 インフラ施設の整備であり、市が行うべき事業であるため適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

配水施設において、増設等の機能強化を図るとともに、老朽化した施設等の改築及び設備等の更新を進め、今後も安心安全な水道水を安定して配水できるよう努める。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

<p>(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（公平性改善） <input checked="" type="checkbox"/>現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要）</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策</p>																						